

I 令和3年度 事業報告

社会福祉法人会津療育会の理念、施設運営の指針、令和3年度短期事業計画に基づき、取り組むべき目標を実現すべく、アガッセ事業推進委員会を中心に各委員会、係、各部署が一体となり、事業を推進してまいりました。

令和3年度は令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、アガッセの入所者の方々には、日常生活、社会生活に大きな制限を受けた1年でしたが、感染対策の会議を定期的に設け、感染状況を見ながらできる限りの対応の検討を繰り返してまいりました。コロナワクチン接種の説明及び実施も含め、日頃の感染対策についても周知を図るなどの対策の徹底してまいりました。

在宅支援でもある短期入所事業については、利用居室が入所棟と同じ空間であることから、感染対策においてより慎重に対応をせざるを得ませんでした。通所生活介護事業においては感染対策の徹底に努めながら、可能な限り通常営業を行ってまいりました。特に在宅支援においては、利用前からの日常的な感染症対策をお願いするなど、御家族にも協力を仰ぎながら事業の継続を進めてまいりました。

施設入所支援においては、外部事業所利用や外出の自粛、外泊や面会の制限等も含め、外部との接触を制限することは感染症対策として継続してまいりました。多くの面で日常生活や社会生活における制限がされましたが、感染の減少が見られた際には、自粛を緩和するなど、常に感染状況を見ながら対策を行ってまいりました。日中活動支援や行事の実施については、規模の縮小や内容の見直しを行いながら実施し、少しでもストレスを解消できるよう検討し事業を進めてまいりました。

1. 法人組織の安定した運営と地域貢献事業の推進

人事考課制度の具体的なかつ円滑な実施により、定着を図ってまいりました。また、事業継続計画を策定し、感染症や災害対策への備えを進めたほか、感染症対策について定期的に会議を行い、感染状況等を踏まえた感染症対策を講じてきました。また、虐待防止対策として要領やマニュアルの見直しを進めたほか、記録の電子化について検討し業務の効率化に向けて協議を進めてまいりました。

2. 在宅支援サービスの強化

在宅支援でもある短期入所事業については、利用前の日常的な感染対策の徹底と利用中の自室のみでの生活のお願いなど、多くの面で制限をお願いしての利用となったほか、感染拡大時の利用の制限など対応が必要となっておりました。通所生活介護事業においては、ご自宅での感染対策を徹底したうえでのご利用をお願いし、ほぼ通常の営業を行ってまいりましたが、一部のグループホームからの利用の方は生活介護の利用の制限などもありました。職員の感染症対策を徹底しさらに、御家族にも協力を仰ぎながら事業の継続を進めてまいりました。

相談支援事業については、基幹相談支援センターとして定期的に行ってきた事例検討会は感染症対策を徹底して実施したほか、オンライン研修も含め、相談支援専門員や障がい福祉従事者の支援技術の向上を図ってきました。また、相談支援事業所間の連携については、情報共有を行い協議を進めてまいりました。計画相談事業についてはモニタリング頻度の把握と年間の実施計画を立て、実施状況を随時確認しながら進めるよう努めてまいりました。地域課題については各関係機関との協議の上把握に努めましたが、具体的なアプローチは今後さらに取り組みを進めてまいります。

3. 入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上

アガッセの入所者の方々には、日常生活、社会生活に大きな制限を受けた1年でしたが、施設内のWi-Fi設備及びタブレット端末を用いて、リモート面会や傾聴ボランティアの実施を行ったり、隣接するコンビニエンスストアへの徒歩での買い物外出の実施など、感染状況を見ながら実施するなど可能な限り対応を行ってまいりました。外部との交流の要でもある、ボランティア活動は、多くが対面で集合して行うものがほとんどであり、自粛を余儀なくされました。また、給食業務委託について見直しに取り組み、食事提供のサービスの質の向上を進めました。